



令和5年8月8日資料配布

総務企画部 物流施設対策官

同時発表 国土交通省

「2024年問題に対応した鉄道モーダルシフト」を支援**～令和5年度「モーダルシフト等推進事業費補助金」交付決定について～**

令和5年度「モーダルシフト等推進事業費補助金」の応募案件について、神戸運輸監理部関係では1件、全国では24件の交付決定がされました。

国土交通省では、物流分野における労働力不足への対応や環境負荷の低減を図るため、物流総合効率化法に基づき、トラック輸送から鉄道・海運への転換（モーダルシフト）や幹線輸送網の集約化等の取り組みを進めており、同法に基づく総合効率化計画の策定やモーダルシフト等の取り組みを支援する補助事業の募集を行い、次のとおり、事業者の認定及び交付決定を行いました。

今後も「総合物流施策大綱（2021年度～2025年度）」や令和5年6月2日に取りまとめた「物流革新に向けた政策パッケージ」を踏まえつつ、労働生産性の改善やカーボンニュートラルの推進等に向けた革新的な取組を進めてまいります。

【神戸運輸監理部管内での採択案件】

○運行経費補助：1件（別紙のとおり）

兵庫県から岩手県までトラック輸送していた産業用ロボット製品を荷主・輸送事業者が連携して12ft コンテナにて鉄道輸送に転換するモーダルシフトを実施し、労働力不足解消とCO2排出量の削減を図る取組

【全国での採択案件の状況】

(1) 計画策定経費補助（今後、物流総合効率化法に基づく計画認定を目指す案件への補助：7件）

モーダルシフト：5件（鉄道・船舶への転換）

幹線輸送集約化：1件（輸送網の集約化及びEVトラックの導入）

共同輸配送：1件（飲料品の共同輸送）

(2) 運行経費補助（物流総合効率化違法に基づく計画認定を受けた事業への補助：17件）

モーダルシフト：9件（鉄道への転換）、7件（船舶への転換）

幹線輸送集約化：1件（中継輸送及びミルクラン方式による共同輸配送）

(3) 交付決定額 約36百万円（合計24件）

モーダルシフト推進事業についての概要ページもあわせてご参照ください。

https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/ms_subsidy.html

配布先
神戸海運記者クラブ

問い合わせ先
神戸運輸監理部 総務企画部 物流施設対策官
担当：加藤、岡本
電話：078-321-3145（直通）



(別紙)

<神戸運輸監理部管内 採択案件>

(1)協議会名 : KHIロボットディビジョン&NKモーダルシフト推進協議会

(2)協議会構成 : 川崎重工業 (株)
日本梱包運輸倉庫 (株)

(3)類型 : 鉄道モーダルシフト

(4)事業概要 : 関西→東北向け産業用ロボットの兵庫岩手間鉄道 モーダルシフト ※片道

(5) CO2 排出削減目標 (t-CO2/年) : 1.7